

日本語カラーページプリンタ LP-8000C セットアップガイド

セットアップ作業を行われる方へ

本製品の開梱 / 据置作業が完了しましたら、本書を参照してセットアップ作業（付属品の取り付け～動作確認）を行ってください。
本書は、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順と注意事項について記載しています。作業を安全に正しく行うために、必ず本書の手順に従ってください。

目次

プリンタ本体の準備

- 保護材の取り外し p2
- 延長トレイの取り付け p9
 - フェイスアップトレイの取り付け p9
 - ETカートリッジの取り付け p10
 - 定着オイルロールの取り付け p12

オプションの取り付け

- 増設メモリ / ROM モジュールの取り付け p15
- インターフェイスカードの取り付け p18
- 増設カセットユニットの取り付け p19

電源との接続と動作確認

- 電源との接続 p20
- 動作の確認 p22

● プリンタ本体の準備

開梱から据置までの作業が終了したら、保護材の取り外しと付属品の取り付けを行います。



注意

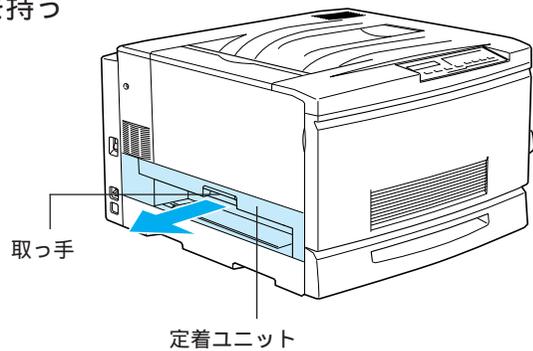
付属品の取り付けが終了するまで、電源ケーブルは接続しないでください。

保護材の取り外し

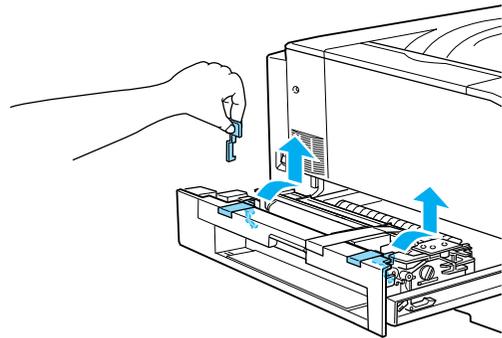
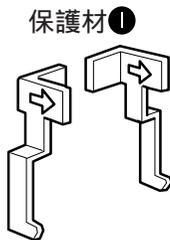
本製品には**A**～**1**の9箇所に保護材が取り付けられています(プリンタ本体上面に貼付のシート「以下の保護材を取り外してください」参照)。以下の手順に従って全ての保護材を取り外してください。

A **1**の取り外し

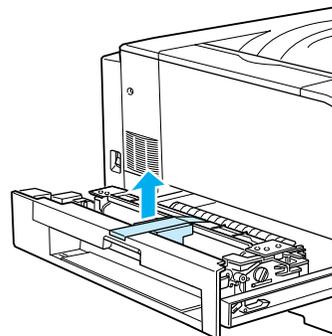
- 1 プリンタ左側の定着ユニットの取っ手を持って引き出します。



- 2 保護材**1**を取り外します。



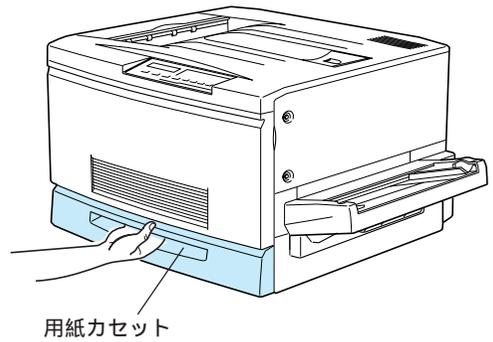
- 3 保護材**A**をテープと共に取り外します。



- 4 定着ユニットを元通りに閉じます。

●の取り外し

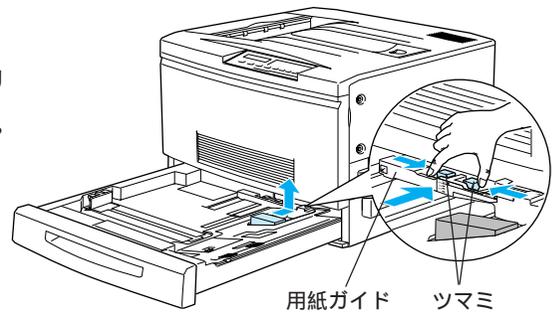
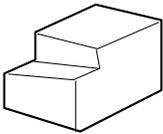
- 1 プリンタ正面下部の用紙カセットの取っ手を
持って引き出します。



- 2 保護材●を取り外します。

用紙ガイドのつまみをはさんで用紙ガイドをプリンタ本体奥側にずらしてから取り外してください。

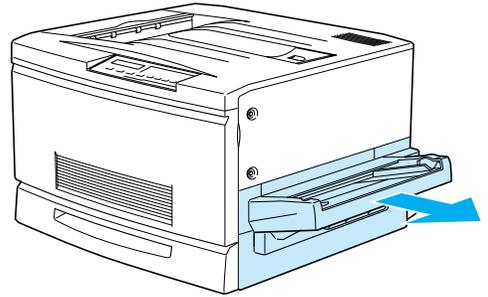
保護材●



- 3 用紙カセットを元通りに閉じます。

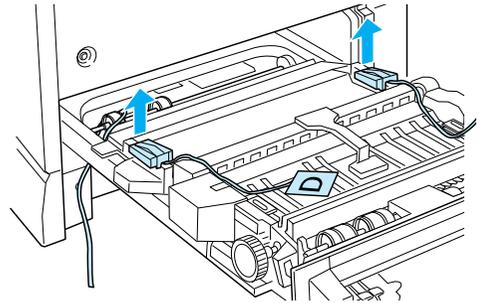
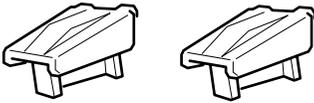
D E Hの取り外し

- 1 プリンタ右側の紙送りユニットを引き出します。



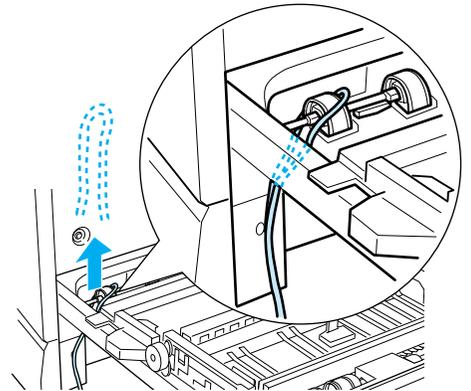
- 2 紙送りユニット左右のオレンジ色の保護材D (2個)を取り外します。

保護材D



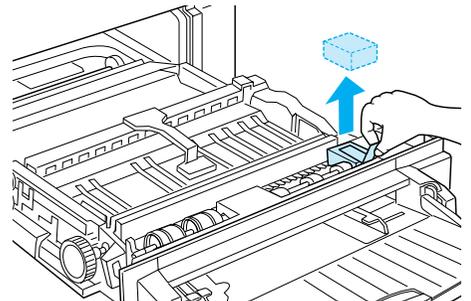
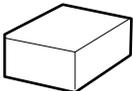
- 3 給紙ローラ左側を留めている保護材E (赤いワイヤ)を取り外します。

保護材E



- 4 紙送りユニットの保護材Hを取り外します。

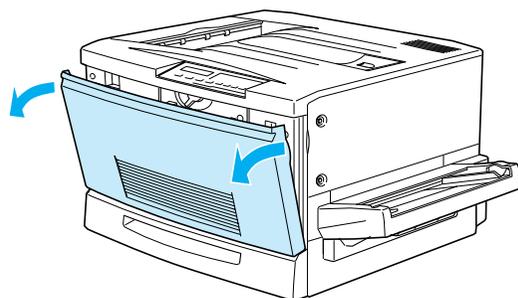
保護材H



- 5 紙送りユニットを元通りに閉じます。

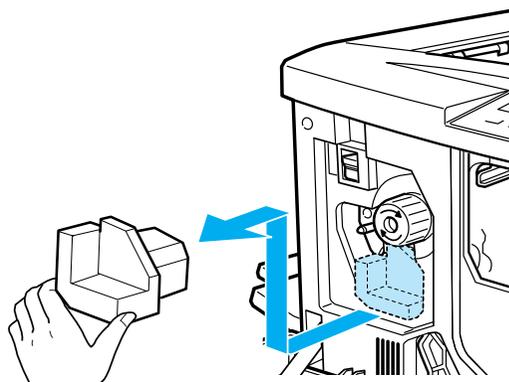
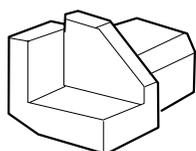
BGFの取り外し

1 プリンタ本体の前カバーを開けます。



2 保護材Bを取り外します。

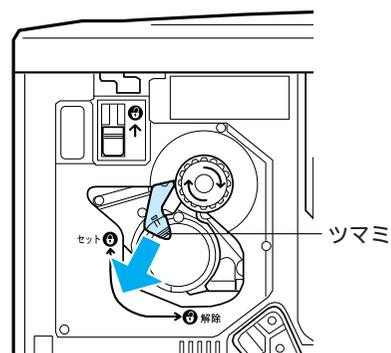
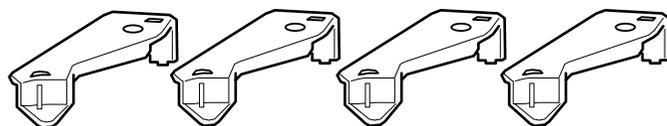
保護材B



3 ETカートリッジ装着口の保護材Gを取り外します。

保護材G下部のつまみを持ち、手前に引いて取り外します。

保護材G



保護材Gは、4つのETカートリッジ装着口に1つずつ取り付けられています。以下の手順で残りの3個を取り外します。

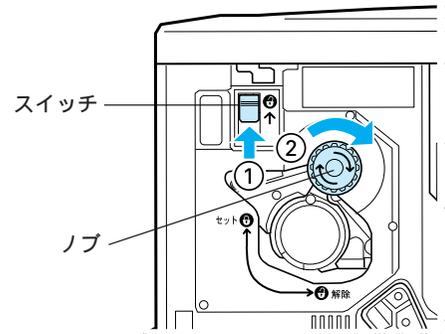
- 4 スイッチを上押ししてから、ノブを矢印の方向に回します。

スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。

「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなったことを確認してください。



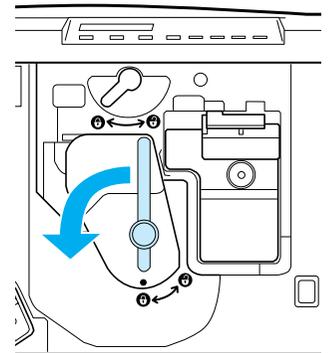
スイッチを上押ししていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。



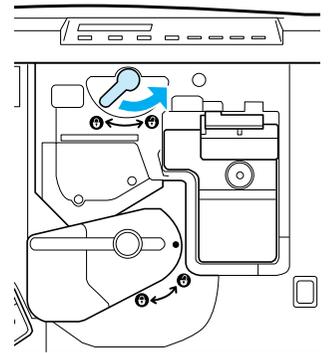
- 5 次のETカートリッジ装着口が正面に来たら、保護材⑥を取り外します。

4と5の作業を繰り返し、4個の保護材⑥を全て取り外してください。

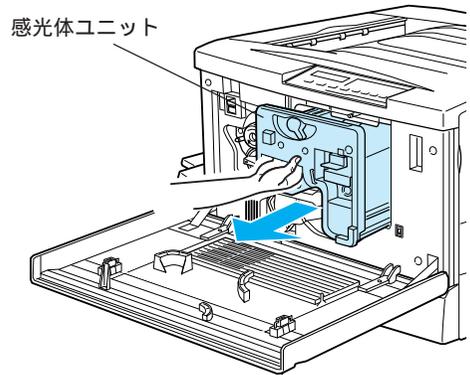
- 6 図のレバーを矢印の方向に90°回します。



- 7 図のレバーを矢印の方向に回します。



- 8 感光体ユニットの取っ手を持って、30cmほど手前に引き出します。

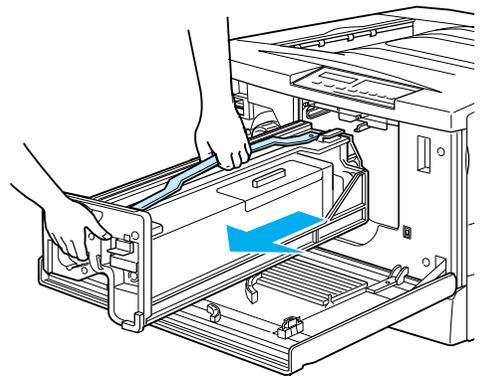


- 9 感光体ユニット上面の取っ手を持って、ゆっくりと引き出して取り出します。



注意

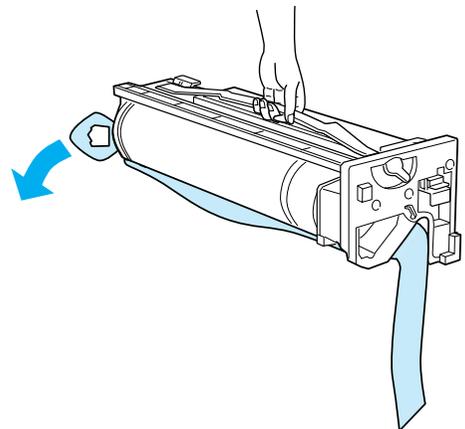
- 感光体（青い円筒形の部分）の表面に触らないでください。また感光体の表面に物をぶつかけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷が付くと、印刷品質が悪くなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも5分以上放置しないでください。



- 10 保護材Fを取り外します。

感光体ユニットを持ったまま、保護材を矢印の方に引き抜きます。このとき、感光体ユニットを机の上などに置かず、必ず持ったままの状態で行ってください。

保護材F

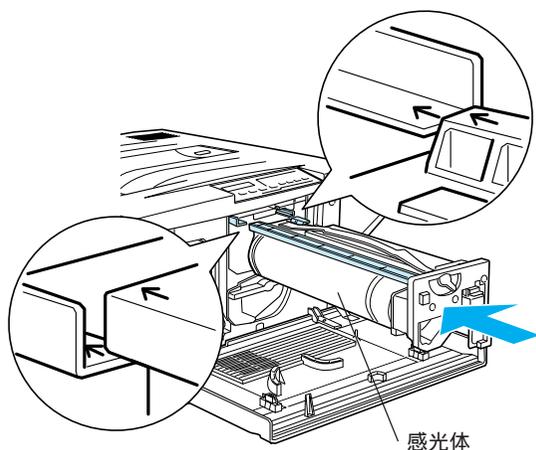


- 11 感光体ユニット上面の取っ手を持って、左右のガイド部をプリンタ内のレールに合わせて、まっすぐに押し込みます。

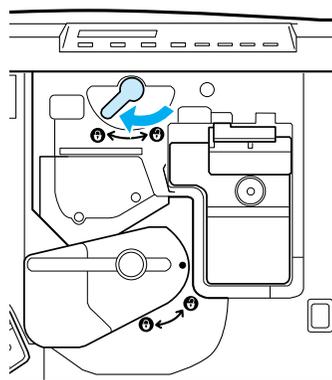


注意

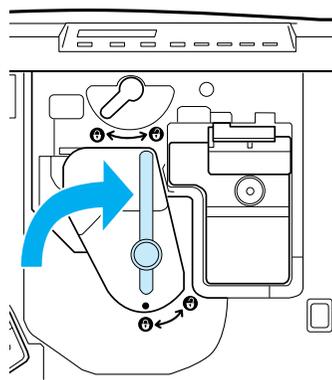
感光体ユニットのガイドは、プリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタの奥までしっかり押し込んでください。その際に、感光体（青い円筒部分）を他の部品と接触させないよう十分注意してください。



- 12 レバーを矢印の方向に回します。



- 13 レバーを矢印の方向に 90° 回します。



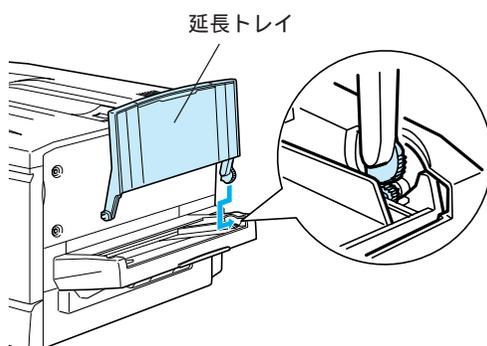
- 14 前カバーを元通りに閉じます。

延長トレイの取り付け

延長トレイをプリンタ右側の用紙トレイに取り付けます。

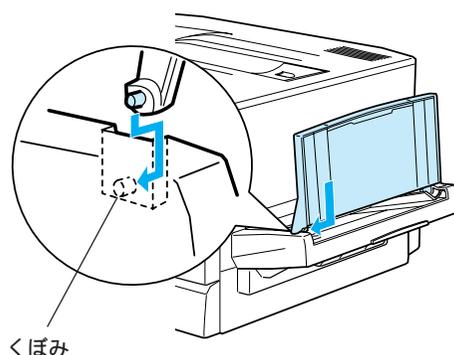
- 1 延長トレイを垂直に立てて、延長トレイの右側先端の突起をプリンタの用紙トレイ右側のくぼみに差し込みます。

延長トレイと用紙トレイの歯車がきちんとかみ合うように差し込んでください。



- 2 延長トレイを垂直に立てて、延長トレイの左側先端を用紙トレイ左側の切り欠きに差し込みます。

カチッという音がして、延長トレイの左側先端の突起が用紙トレイ側のくぼみとかみ合うように差し込みます。



フェイスアップトレイの取り付け

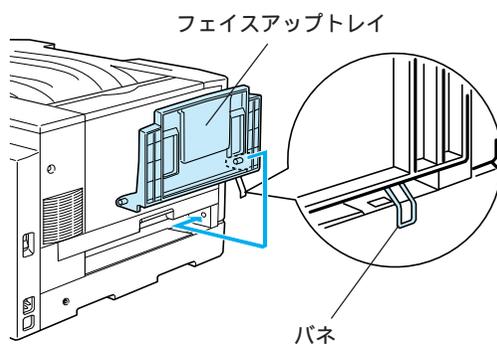
フェイスアップトレイをプリンタ左側の排紙口に取り付けます。

- 1 フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の下部に押しつけるようにして、排紙トレイの右側の突起をプリンタの排紙口の右側の穴に差し込みます。

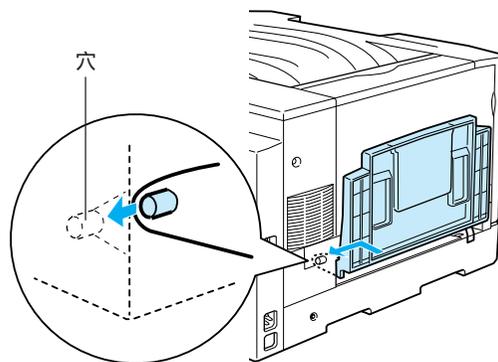


ポイント

フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の中に入れてそのまま取り付けないように注意してください。



- 2 フェイスアップトレイの左側の突起をプリンタの排紙口の左側の穴に差し込みます。



ETカートリッジの取り付け

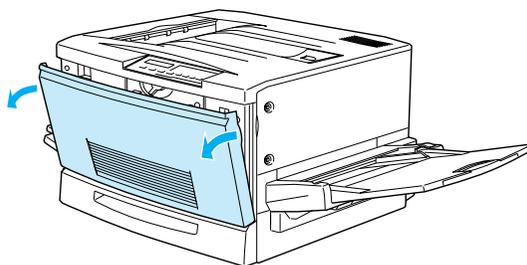
ETカートリッジの取り扱いと取り付け作業は、次の点に注意してください。

トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。

寒い場所から暖かい場所へ移動した場合は、ETカートリッジを室温に慣らすため1時間以上待ってから作業を行ってください。

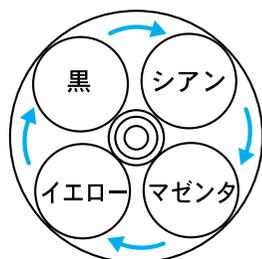
取り付けは、次の手順で行ってください。

- 1 前カバーを開けます。

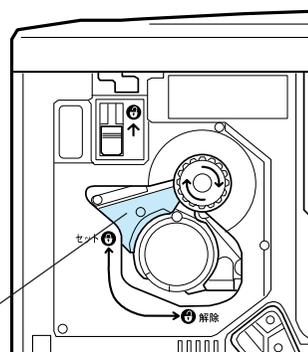


- 2 ETカートリッジの装着口には、セットするETカートリッジの色が示してあります。右図の位置に表示されている色を確認して、同じ色のETカートリッジを用意します。

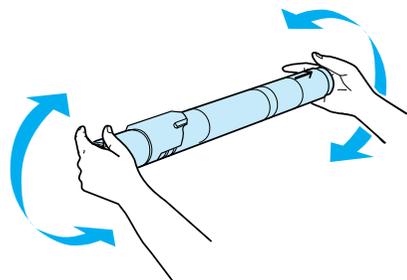
ETカートリッジの装着口は次のように回転します。



この色とカートリッジの色を合わせます。



- 3 ETカートリッジを梱包から取り出し、図のように左右に傾けて7～8回振り、中のトナーを均一にします。

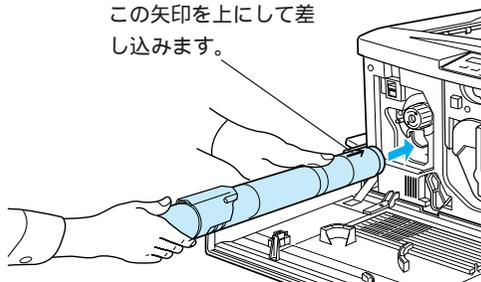


- 4 ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、次の手順で装着します。

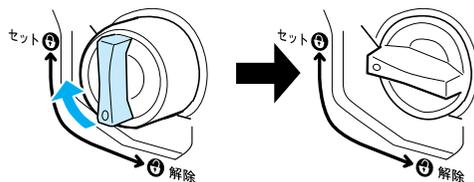
ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、装着口にまっすぐ差し込みます。

ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなったらに進みます。

この矢印を上にして差し込みます。



差し込んだETカートリッジ後端のつまみを持ち、つまみの がセットの位置にくるまで矢印の方向に約90°回します。つまみを回すと同時にETカートリッジが装着口に押し込まれます。つまみが水平になり、これ以上回らなくなったらETカートリッジの装着は完了です。



注意

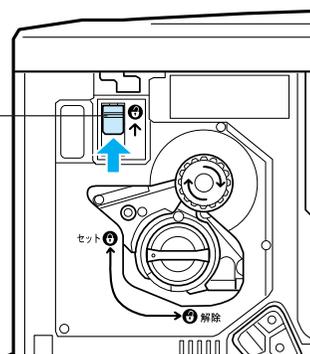
ETカートリッジのつまみはセットの位置に止まるまでしっかりと回してください。装着が不完全の場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

- 5 次のETカートリッジを装着します。

スイッチを上押しします。

スイッチを押し上げたら、スイッチから指を離してください。

スイッチ

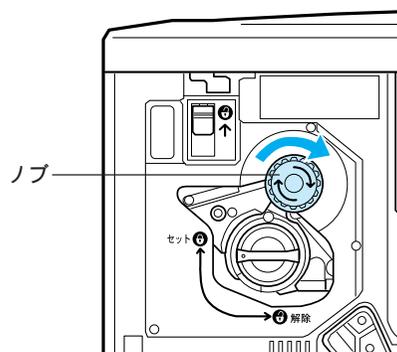


ノブを図の矢印の方向に回します。
「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなると、次のETカートリッジ装着口が正面にきます。



ポイント

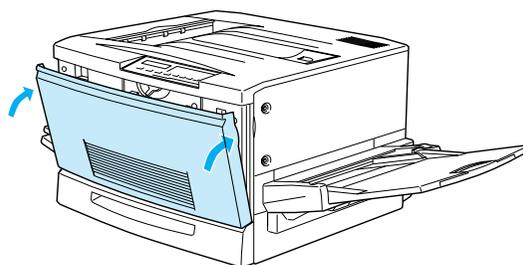
スイッチを上押ししていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。



6 ②から⑤の手順に従って4個のETカートリッジを全て取り付けます。

4個めのETカートリッジを装着したら⑤の作業は不要です。

7 前カバーを閉じます。



定着オイルロールの取り付け

定着オイルロールの取り扱いと取り付け作業は、次の点に注意してください。

定着オイルロールの白いロール部分には直接触れたり、傷を付けたりしないように注意してください。

白いロール部分に塗布されているオイルに触れると、印字品質などに影響が出ます。

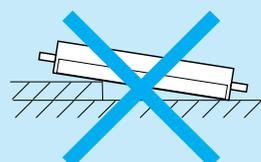
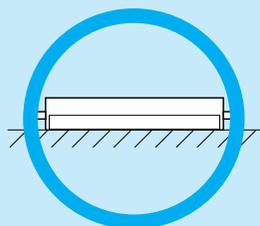
オイルは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。

定着オイルロールを置く場合は、立てかけたり斜めにしないように、平らな場所に置いてください。



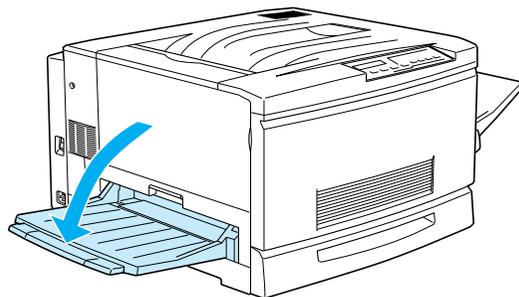
注意

定着オイルロールは、常に水平の状態でご覧ください。立てかけたり、斜めになると、オイルが漏れて印字品質などに影響が出ます。

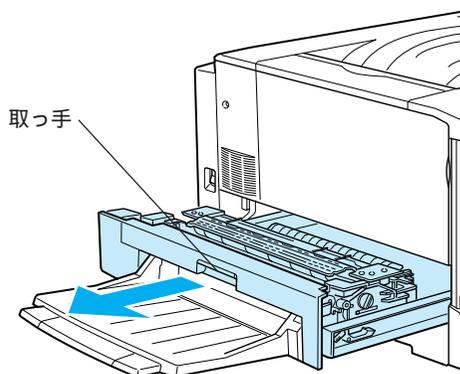


取り付けは、次の手順で行ってください。

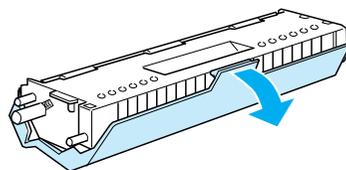
- 1 プリンタ左側のフェイスアップトレイを開きます。



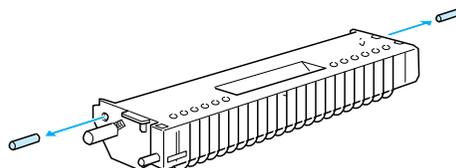
- 2 定着ユニットの取っ手を持ち、図の方向に止まるまで引き出します。



- 3 同梱の定着オイルロールを箱から取り出し、保護材を取り外します。
定着オイルロールのカバーを取り外します。

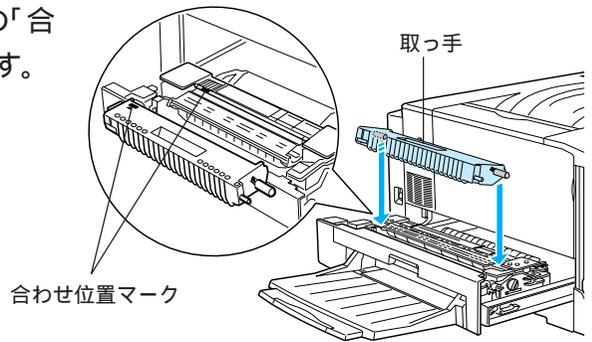


定着オイルロール両側面のピン（2個）を図の方向に抜き取ります。

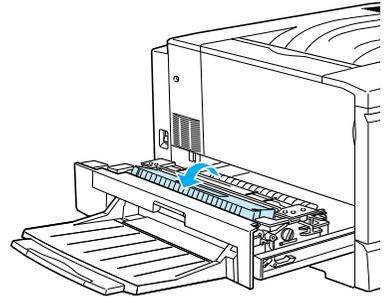


定着オイルロールの白いロール部分には触れたり、傷付けたりしないでください。定着オイルロールの白いロール部分に塗布されているオイルに触れると、印字品質などに影響が出ます。

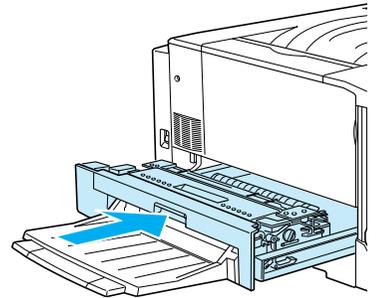
- 4 定着オイルロールの取っ手を持ち、緑色の「合わせ位置」マークを合わせて差し込みます。



- 5 定着オイルロールを図の矢印の方向に回転させるように「カチッ」と音がするまで押し込みます。



- 6 定着ユニットを、プリンタ本体に押し込んで閉じます。



● オプションの取り付け

本製品と共にオプションを購入された場合は、続いてオプションの取り付けを行ってください。オプションの取り付けは、各オプションの取扱説明書も必ず参照してください。

増設メモリ / ROM モジュールの取り付け

⚠ 注意

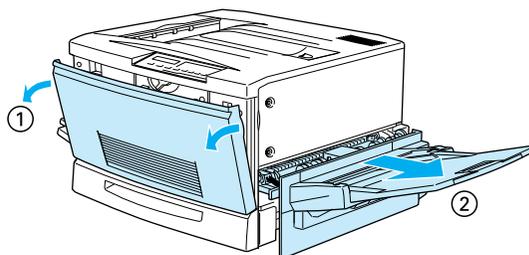
カバーの内側や内部のパネなどで、手などを傷付けないように注意しながら作業を行ってください。



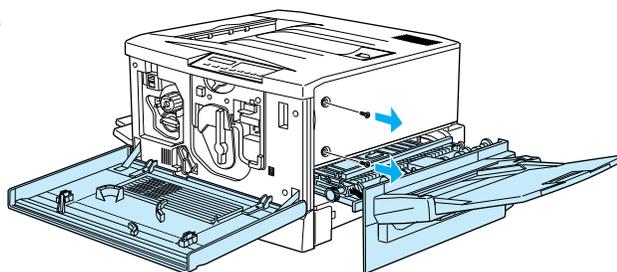
注意

増設メモリ / ROMモジュールの装着作業の前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で増設メモリ / ROMモジュールにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

- 1 前カバーを開け、紙送りユニットを 10cm 以上引き出します。



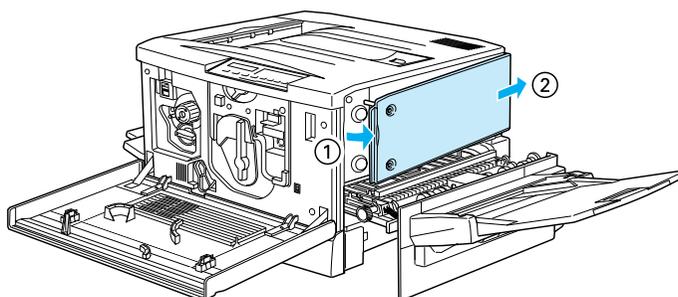
- 2 右上カバーのネジ (2 本) を外します。



3 次の手順で右上カバーを外します。

右上カバーの、プリンタ後方側を支点にしてプリンタ正面側を図のように20～30°回転させるように開きます。

右上カバーをプリンタ後方にずらして取り外します。

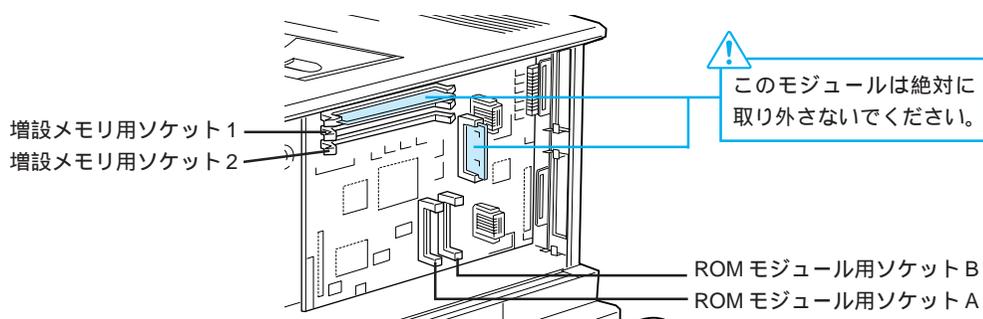


4 増設メモリ用ソケットまたはROMモジュール用ソケットの位置を確認します。



注意

プリンタ内部にはじめから装着されている増設メモリやROMモジュールは絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが動作しなくなります。



5 次の手順で増設メモリまたはROMモジュールを装着します。



注意

- 増設メモリ / ROMモジュールを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリ / ROMモジュールは、逆差ししないように注意してください。

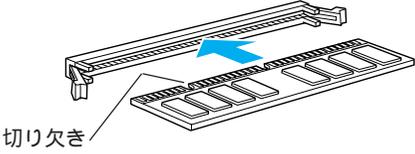
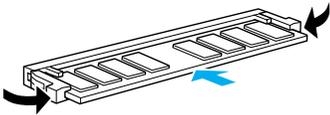
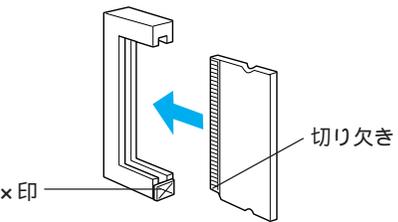
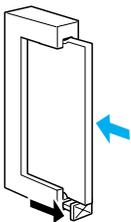


ポイント

本機に装着できる増設メモリの仕様は、以下のとおりです。

- DRAMタイプ : SDRAM (シンクロナス DRAM)
- 容量 : 32、64、128MByte
- 形状 : 168ピン DIMM

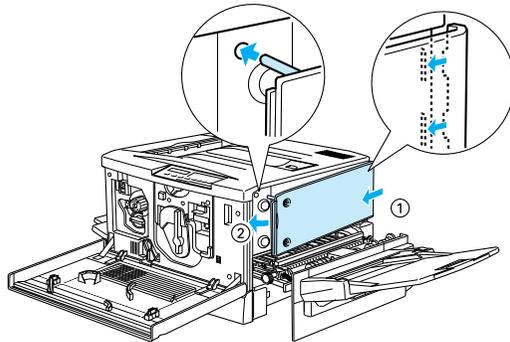
メモリは最大256MByte (128MByte × 2枚)まで増設できます。使用できるSDRAMについては、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターについては取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

増設メモリの装着の場合	ROMモジュールの装着の場合
<p>ソケット1または2のどちらから装着してもかまいません。また1枚のみの装着でもかまいません。</p> <p>増設メモリをまっすぐにソケットに差し込みます。</p>  <p>増設メモリが正しく差し込まれると、ソケット左右のツメが増設メモリの左右の切り欠きにかみ合い、固定されます。</p> 	<p>フォームオーバーレイROMモジュールにフォームを登録する場合はソケットAに装着します。それ以外の場合はどちらのソケットに装着してもかまいません。</p> <p>ROMモジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のある側に向け、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。</p>  <p>ROMモジュールが正しく装着されると、ソケット端の×印の部分が飛び出した状態になります。</p> 

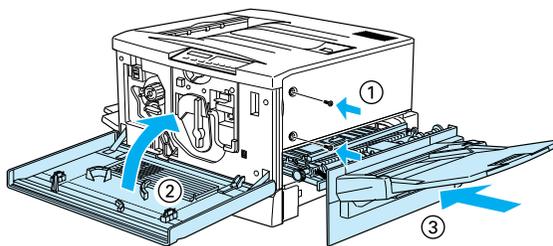
6 次の手順で右上カバーを取り付けます。

右上カバーのプリンタ後方側のフックをプリンタ本体の溝に引っかけます。

右上カバー内側の突起とプリンタ本体の穴の位置を合わせて、カバーを閉じます。



7 右上カバーをネジ（2本）で固定してから、前カバーと紙送りユニットを閉じます。



インターフェイスカードの取り付け

本機に装着できるインターフェイスカードについては『取扱説明書』の「インターフェイスカード」を参照してください。



注意

インターフェイスカードの取り付けの前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態でカードにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

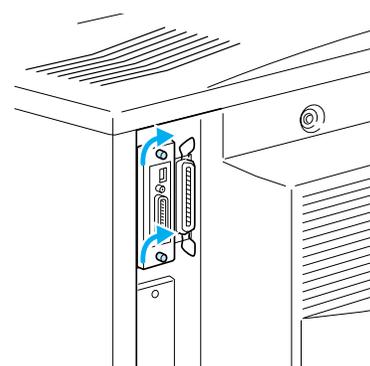
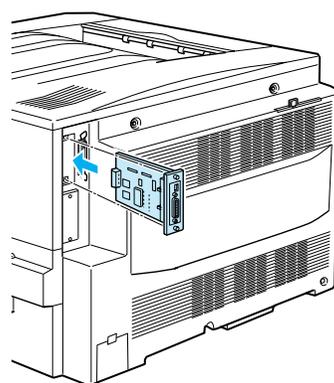
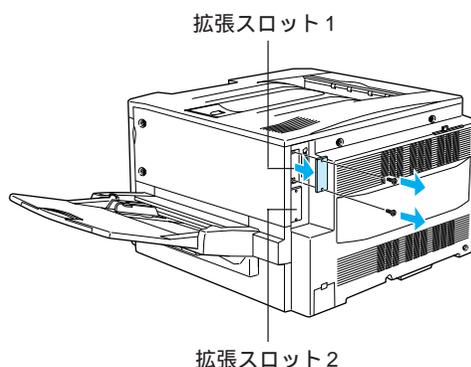
1 インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、カード上のスイッチ類などの設定を行います。

- 2 プリンタ本体背面のコネクタカバーのネジ(2本)を外し、コネクタカバーを取り外します。どちらのスロットに装着してもかまいません。

取り外したコネクタカバーは大切に保管しておいてください。

- 3 インターフェイスカードを図のように向け、スロット内部の溝に合わせてまっすぐに差し込みます。

- 4 インターフェイスカードを、ネジ(2本)で固定します。



増設カセットユニットの取り付け

増設カセットユニットを装着する場合は、増設カセットユニットに添付されている取扱説明書を参照して行ってください。

●電源との接続と動作確認

付属品やオプションの取り付けが終了したら、電源ケーブルを接続してプリンタ本体に異常がないことを確認してください。

電源との接続

⚠ 警告

電源ケーブルは本製品に添付されている専用のケーブルを接続してください。
発熱などによる火災や感電、発煙のおそれがあります。

電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。
また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。

発熱による火災や感電のおそれがあります(本機の定格電流は100V/11Aです)

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。
そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原因となることがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、本製品に添付されている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の危険があります)
- 電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です)
- 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません)

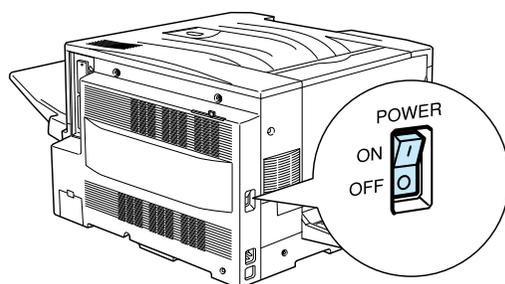
⚠ 注意

本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

インターフェイスケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換するときは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。
感電の原因となることがあります。

1 プリンタの電源スイッチがオフ()になっていることを確認します。

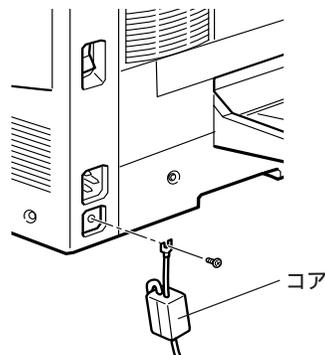


2 アース線をプリンタ本体に接続します。



注意

アース線のコア(イラスト参照)のついている側をプリンタ本体に接続してください。

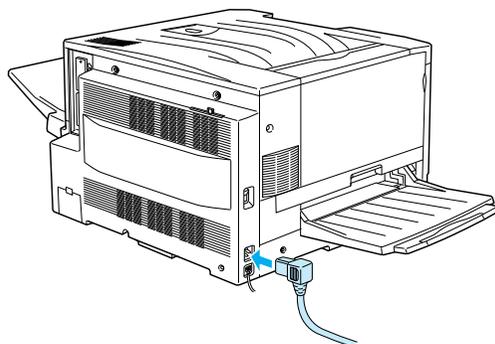


3 アース線のもう一方を、以下のいずれかの場所に取り付けます。

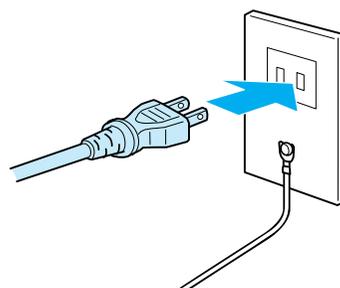
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

4 プリンタ左側のACインレットに電源ケーブルを差し込みます。



5 コンセントの電源がAC100Vであることを確認し、電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

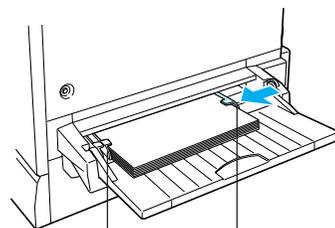


動作の確認

電源との接続が終了したら、正常に動作するかを確認します。

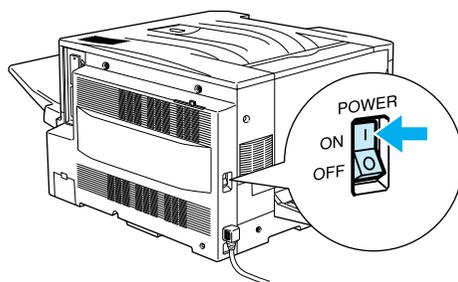
- 1 用紙トレイに A4 サイズの用紙（普通紙）をセットします。

用紙は印刷面を上にして、用紙ガイド（左）に用紙の側面を当てて横長にセットし、用紙ガイド（右）を用紙の後端に軽く当たるまでずらしません。



用紙ガイド（左） 用紙ガイド（右）

- 2 プリンタの左側の「電源」スイッチをオン（ | ）にします。



- 3 プリンタが正常に動作すると、操作パネル上のランプの状態や液晶ディスプレイの表示が次の順番で変わります。

すべてのランプが点灯した後、消灯します。

液晶ディスプレイに「ROM CHECK」と表示されます。

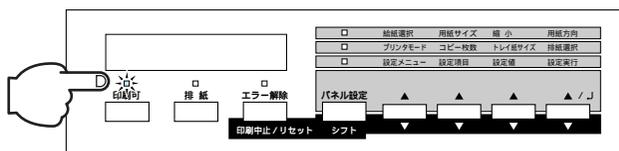
液晶ディスプレイの表示が「RAM CHECK XXXMB」に変わります。

このとき「XXX」にはプリンタに搭載されているメモリの容量が表示されます。

オプションの増設メモリを装着している場合、「XXX」が「標準装備のメモリ容量（32MByte）+増設メモリの容量」であることを確認します。

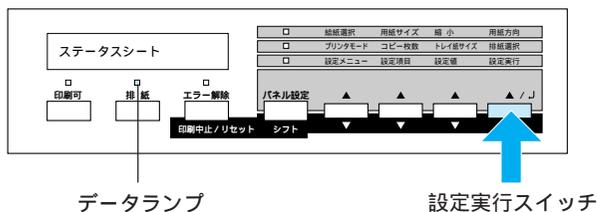
液晶ディスプレイの表示が「システムチェック」に変わり、続いて「ウォームアップ」に変わります。

約5分が経過すると液晶ディスプレイの表示が「インサツカノウ」に変わり、印刷可ランプが点灯します。



4 操作パネルの **設定実行** スイッチを押します。

液晶ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。



データランプが点滅しているときは、データを受信していますので、**電源** スイッチをオフにしないでください。

5 再度 **設定実行** スイッチを押します。

液晶ディスプレイの表示が点滅し、プリンタのステータス情報が印刷されます。

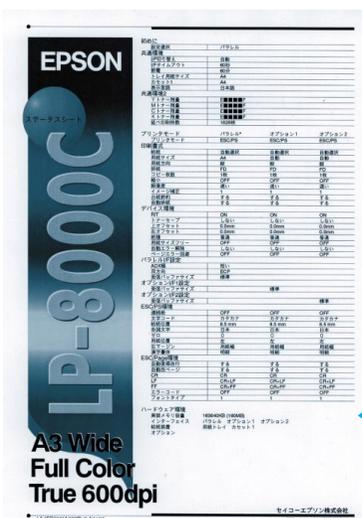
6 印刷されたステータスシートをご覧ください、次の点を確認します。

ステータスシートがきれいに印刷されているか。ステータスシートの出力サンプルを「取扱説明書」の巻末カラーページの最終ページに掲載してありますので、参考にしてください。

「ハードウェア環境」の項で、プリンタに装着したオプション情報の内容が正しく印刷されているか。

オプションを装着している場合、そのオプション名称が印刷されていればプリンタがオプションを正しく認識しています。増設メモリを装着している場合は、「実装メモリ容量」の項に標準装備のメモリ(32MByte)と増設したメモリの合計容量*が印刷されます。

* メモリを256MByte(128MByte × 2枚)増設している場合は「256MByte」と表示されます。



ハードウェア環境

ステータスシートが印刷されなかったり、印刷結果に問題がある場合は、お買い求めの販売店へご連絡をしてください。

以上でセットアップ作業は終了です。

続いてプリンタとコンピュータを接続し、プリンタドライバをインストールします。これらの作業は、本製品のドキュメントボックス内に同梱されております「取扱説明書」を参照して行ってください。